

# 南の風 For Junior 159

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

チャンス局面の続きです。

## ☆ミスマッチ

相手との身長や速さに有利な状態があることです。

- ・身長差があってゴール下が有利
- ・ドリブルのスピードに差があって有利

このような場面であれば躊躇なく攻めることが大切です。パスを探したり、約束のプレーがあつたりしても自分が攻めましょう。

ミスマッチはスクリーンを利用して、相手がスイッチしてきたら発生しやすくなります。スイッチされたらあきらめるのではなく、むしろわざとスイッチさせてミスマッチを攻める、そのくらいたくましくチャンスを活かしましょう。

レベルが上がれば上がるほど、ノーマークやクローズアウトは作りにくくても、ミスマッチは結構作れます。ミスマッチを逃さずに攻められるようにしましょう。

順序としては

- ①まずは高さ（サイズ）のミスマッチ
- ②次にスピードのミスマッチ

理由はサイズのミスマッチはカバーされ易いからです。例えばインサイドにポストアップすることで、サイズのミスマッチを攻めると周囲からカバーされやすいです。

一方でスピードのミスマッチは、少し時間が経っても優位性が変わりません。パスを一往復させるブーメランパスでも、スピード差は攻められます。

### (3) チャンスを見つける視点を育てよう

**チャンスを見ようとしなのはNGです。**選手の皆さんはチャンスを活かす切れる視点でプレーしましょう。そして我々指導者は、動き方とかフォーメーションとかより、**チャンスを見つけられる選手を育てることが大切**です。適切なフィードバックで選手の視点は育ちます。

## 4 ブレイク局面 ⇒ ヘルプやローテーションを打開しようとしている局面

多くのバスケットボール選手が持っている悩み

- ①ボールを持っているとき、自分が攻めていいの？
- ②ボールを持っていないとき、どう動けばいいの？

①の解決策は、前号まで解説した**チャンスを理解すること**です。今回は②のボールを持っていないとき、どう動いたらいいかが課題です。

### ①悩み解決はチャンスとブレイクの理解

チャンス局面は、「ディフェンスとのズレを攻める（高さや速さ）」ことでした。ブレイク局面は簡単に言うと「ヘルプさせにくくする」ことです。次号に続けます。